

# 長崎の林業

小曾根星堂書



国見山湖畔公園から見た国見山（佐世保市）

## 6

### 目次

● 林政だより	県民の生活を守る治山事業 .....	2～3
● 特集記事	竹林整備から竹炭づくり 佐世保市鹿町町「竹かんむり」 .....	4～5
● 林業普及だより	伐木等の業務にかかる特別教育（チェーンソーの補講）は受講されましたか!? ～未受講者は、2020年8月1日以降、チェーンソーを用いた伐木等作業に就くことができません～ .....	6
● 地方だより・県北	市内初！林業専用道鴛ノ岳（おしのだけ）線開設（平戸市） .....	7
● 地方だより・対馬	対馬しいたけと共に生き、次世代のための終活を！ .....	8
● 林業団体情報	長崎県民の森 ご利用にあたって（お願い） ～新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて～ .....	9
● センターだより	令和2年度の研究紹介 ～森林研究部門～ .....	10
● 紹介コーナー	槍巻山荘 あかがしの家 .....	11
● 長崎の山：国見山776m（佐世保市） .....		12



2020  
No.777

木づかい推進で地球温暖化を防止しよう！

ご自由にお持ち下さい。

FREE

「長崎の林業」は、ながさき森林環境税により発行しています。  
「長崎県庁」のホームページ「広報」→「県の発行物」からもご覧いただけます。

## 県民の生活を守る治山事業



五島市 奈留町 おおげ 大瀬地区

### はじめに

近年、山地災害による被害が頻発しています。特に昨年度発生した「令和元年 8 月の前線に伴う大雨」では、河川の氾濫が発生し、長崎県平戸市では 24 時間雨量 434.0mm が記録され、観測史上 1 位と発表されたことなど、みなさんの記憶にも新しい事と思います。

長崎県は、年間平均降水量が全国平均よりも多く、特に梅雨時期や台風時期は集中豪雨が頻繁に発生し、それに伴い山地災害も多く発生しやすい状況となっています。このような中、災害を未然に防止する対策を行うことが被害を最小限に抑えることに繋がります。

### 県民の生活を守る治山事業

そこで県では、山地災害の復旧・予防のために治山事業を進めています。

治山事業とは、県民の安心・安全な生活の実現のため、公益的機能の発揮が期待される森林を保安林に指定し、その保安林の機能を維持保全するために実施する公共事業です。



西彼杵郡 長与町 ほんかわち 本川内地区

### 山地災害危険地区について

県では、図 1 のような危険区域を「①山腹崩壊危険地区」、「②地すべり危険地区」、「③崩壊土砂流出危険地区」としています。

これらの地区は、県ホームページの「長崎県総合防災ポータル」の長崎県総合防災 GIS※1 に掲載していますので、自分の住む地域について確かめてみてはいかがでしょうか。

## 自助と共助意識を高めて減災！

災害を未然に防ぐためには、自らを守る自助と周辺の方々と協力し合う共助による自主防災が、現在最も効果を発揮します。

そのためには、普段から家族や地域ぐるみで災害発生危険箇所や避難場所、避難経路について十分話し合い、実際に自分の目で確認することが大切です。避難場所については、山地災害危険地区と同様に長崎県総合防災GISで確認が出来ます。

また、異常時の変化に気づく目を養うことも重要です。山地災害の兆候としては、図2に示すような現象のほか、不審音の発生が挙げられます。

山地災害の発生はいつ起きるか分かりません。近隣の山林などで異変を感じたらすぐに避難し、災害が発生した場合は、すぐに「110番」か「119番」に通報しましょう。

(森林整備室 治山班)



図1 山地災害危険地区のイメージ



図2 山地災害の危険信号の例

※1 長崎県総合防災GIS <http://www.pref.nagasaki.jp/sb/gis/index.php>

【特集記事】



## 竹林整備から竹炭づくり 佐世保市鹿町町「竹かんむり」

(写真左) 竹の搬出をするメンバーの金城和希さん

(写真右) 代表の杉本徳義さんと看板犬のレンちゃん

### 地元のために竹林整備を

何年も放置されたままの竹林、切ったまま手つかずの竹。身近にあるそんな竹をどうにかしたい、何か自分たちに出来ることはないかと考え、活動に乗り出したのが、佐世保市鹿町町を拠点に活動している「竹かんむり（環夢里）」です。竹を通して地域の環境を考え、循環型農業の夢の郷（町）を創りたいという願いを込め、つけられた名前だそうです。

代表の杉本徳義さんは、地元鹿町町で昭和30年から続く杉本燃料有限会社を営んでいます。その仕事の傍ら、平成30年に団体を立ち上げました。現在は、仕事が休みの日に、メンバーと共に月4、5回ほど、地元の竹林整備や竹の炭焼き等の活動を行っています。

### 使わない竹を役立つ製品に

地元の放置竹林をどうにかしたいと立ち上がった「竹かんむり」。その活動は、竹を伐採後、手作業で細かく切り、無煙炭化器や竹粉碎機等で竹炭チップ、竹パウダー等に変え、自分達で梱包した後、近隣の道の駅や直売所で販売を行っています。最近で

は、杉本さんらの活動を知った地域外の人からも「竹が伸び放題で困っているので助けてほしい。」「自分達ではどうしようもないので処分してほしい。」と声がかかるようになり、出張という形で出向くことが増えたそうです。

「竹かんむり」の竹炭は、竹材を炭窯で約800℃以上の高温で焼いたあと冷却し、完成するまでに丸2日かかるそうです。叩くとキンキンと心地のよい音が響く美しい炭は人気があり、最近では、お土産、消臭やミネラルウォーター用として購入する方も増えたそうです。



無煙炭化機で竹炭チップを作成

また、無煙炭化機で作る竹炭チップは、畑や飼料としても使いやすいように、二次粉碎機でさらに細かく粉碎して袋詰めして

います。竹パウダーは、ハーベスターを改造して作ったお手製の竹粉碎機で、よく乾いた竹を時間をかけ丁寧にパウダー状にしています。竹炭チップや竹パウダーを使用した地域の農家さんによると、土壌用の肥料やマルチ、ニワトリなどの家畜のエサに混ぜる飼料として活用しており、竹炭を食べた家畜のフンは匂わないという声もあるそうです。杉本燃料の看板犬を務めるレンチちゃんも、実は竹炭チップが大のお気に入り。動物は体や腸内を整えるために炭を食べることもあるそうで、レンチちゃんも大好物の竹炭をこっそり小屋に持ち帰っていることもあるそうです。



竹炭チップ作り(左)とお手製の竹粉碎機(右)

### 無農薬で循環型の野菜作りを目指す

お手製の粉碎機でパウダー状になった竹は、空気が入らないように袋詰めします。上質な竹パウダーはしばらくたつと発酵し乳酸菌の匂いがしてきます。竹は繊維が固く、そのままでは土に還らないため、細かくすることで土の中の微生物による分解が促進され、ミミズが住む良い土へと変わっていきます。更に竹炭を混ぜることで微生物が増えるともいわれており、この土で作った野菜は根の張り方が全く違うそう。杉本さんも自身の畑でニンニクを作っていますが、市販のものに比べてずっしりと重く実が詰まり、大変香りが良いものが出来ると大評判。地元近隣の方からのリクエストで、去年は約4000個のニンニクを作って配ったそうです。

「農薬や化学肥料で育てた野菜は、本当の姿ではないですよ。」と話す杉本さん。微生物の力で、より自然に近い健全な土壌で

の農業を目指しています。肥料の費用が抑えられ、安全かつ気軽に使える「竹かんむり」の商品は、自然で美味しい地元野菜の流通に一役買っています。



竹炭(左)と竹パウダー(右)

### 今後も続く竹チャレンジ

「本業はガス屋なんですけど…」と笑う杉本さん。普段はプロパンガスや灯油の販売等のお仕事をされていますが、ガス屋だからこそ出来る活動として、将来この竹炭をエネルギー源として使いたいと考えています。竹の力はまだまだ豊富にあり、その多様な活用方法を活かすことでCO<sub>2</sub>量を減らし、少しずつでも地球温暖化防止につながれたらと語りました。



杉本燃料での販売の様子

### 最後に

地元農家さんが気軽に使え、経済的で環境に良い竹炭。循環型農業の手助けとなり、さらに地元地域の安全安心な食とエネルギーにつなげたいという熱い思いの元、活動を続ける杉本さん率いる「竹かんむり」。これからも竹からぶれず、色々な用途で竹を生かす活動を広げるため、今日もまた鹿町の地で新しいチャレンジとアイデアが生まれています。

(NPO法人地域循環研究所)

林業普及だより

伐木等の業務にかかる特別教育(チェーンソーの補講)は受講されましたか!?  
 ~未受講者は、2020年8月1日以降、チェーンソーを用いた伐木等作業に就くことができません~

労働安全衛生規則の一部改正の趣旨

林業における労働災害による死亡者数は年間40人前後で推移しており、平成23年以降、改善がみられていません。死亡災害の約6割はチェーンソーによる伐木作業時に発生しており、また、休業4日以上死傷者の起因物では、立木等が約3割、チェーンソーが約2割と多数を占めています。

そこで、厚生労働省は、「伐木等作業における安全対策のあり方に関する検討会報告書」(平成30年3月6日公表)を踏まえ、労働安全衛生規則(昭和47年労働省令第32号。以下、「安衛則」という。)の一部を改正しました。

今回の改正では、立木の胸高直径により区分されていた2種類の特別教育を統合し、立木の胸高直径に関わらず、チェーンソーを用いて行う伐木、かかり木の処理及び造材(以下、「伐木等という。」)の業務に従事する労働者に対する教育を強化することになりました。

なお、安衛則の一部改正の伐木作業等における安全対策強化については、林業、土木工事業や造園工事業など、業種にかかわらず、伐木作業等を行うすべての業種が対象となります。

伐木等の業務に係る特別教育

安衛則の一部改正により、かかり木の処理の禁止や労働者に下肢の切創防止用保護衣の着用等が義務付けられることから、チェーンソーを用いて行う立木の伐木、かかり木の処理又は造材の業務にかかる特別教育の科目、範囲及び時間等の細目等の所要が改正され、特別教育の講習時間(学科と実技)は現行16時間から新カリキュラム18時間に増加します。

なお、現行の特別教育修了者は、補講(学科2時間、実技30分)を受けることで講習を省略することができます。

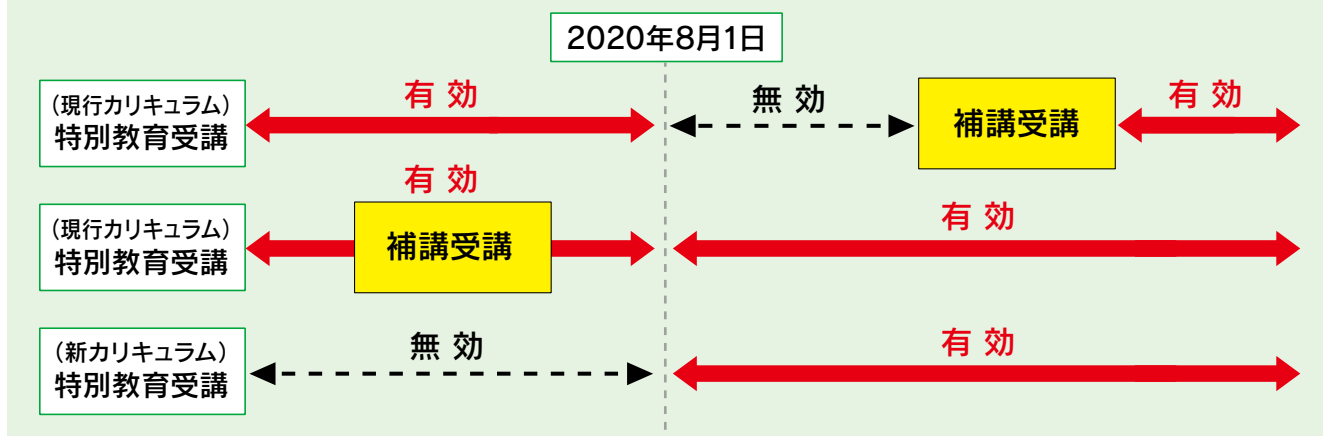
特別教育規程適用日は  
 2020年8月1日

現行カリキュラムでの特別教育修了者の方は、2020年7月末までに、伐木等の業務特別教育の補講を受けないと、8月以降は、チェーンソーを用いた伐木等作業に就くことができなくなりますのでご注意ください。

なお、詳細は、県林政課(095-895-2990)または県労働局・労働基準監督署までお問合せ下さい。

(長崎県林政課 普及指導班)

図 補講受講による特別教育有効のイメージ図



地方だより

市内初！林業専用道鴛ノ岳（おしのだけ）線開設（平戸市）



平戸市草積町おしのだけの鴛ノ岳おしのだけに、市内初の林業専用道「鴛ノ岳線」を平戸市が開設しています。令和元年度から開設工事に着手し、令和3年度に完成予定です。

「林業専用道」とは、必要最小限の規格構造で作られた10t積大型トラックが走行できる道です。森林内で林業機械が作業するために使う「森林作業道」と、一般の車両も走行できる高規格の「林道」を繋いで、効率的に材を搬出することができます。側溝や暗渠による排水ではなく、きめ細かく設置した横断排水溝などにより、水を集めず災害に強い道作りを行ないます。

鴛ノ岳は、個人有林、林業公社有林、平戸市有林のスギ・ヒノキ林が山頂から中腹部にかけて約30haありますが、ふもとの集落周辺には広葉樹が多く、森林作業道を作設して各所有者が材を搬出することは難しいとされていました。

そこで平戸市は、林業公社・市・個人有林の森林整備を一体的に考え、鴛ノ岳の中腹まで10tトラックが入れるように、林業専用道を開設することとしました。

これによりhaあたり約30～40m<sup>3</sup>の出材が可能となり、この地区で合計1000m<sup>3</sup>以上の木材を生産することができるようになります。



また、直接山から木材市場まで10tトラックで材を運搬することができるようになるため、一度中間土場まで2tトラック等で運搬してから10tトラックに積み替える場合と比べると、運搬経費を約半分に削減することができます。

今後も、鴛ノ岳線をモデルとし、市内の路網整備が推進され、林業生産性が向上することが期待されています。

（県北振興局 林業課）

地方だより

# 対馬しいたけと共に生き、次世代のための終活を！



おがたきみひろ みちよ  
緒方公洋さん・美千代さんご夫婦

## 次世代にしいたけ原木を残す

近年、対馬では担い手不足、不在村化が問題となっており、自分の代で主伐をしまおうと考える森林所有者が増えてきています。そうした中で、対馬市上県町のしいたけ生産者である緒方公洋さんは、農地を転用し、しいたけ原木となるクヌギを植栽して将来に残す「終活」を行っています。

緒方さんがしいたけ生産を始めた頃は、しいたけ原木林となる山を持っておらず、原木調達に大変苦労されました。そうした経験を踏まえて、これからしいたけを生産する次世代に何が残せるかを考え、クヌギを植栽されています。元々、高齢化による体力低下で植栽作業ができなくなる前に農地を転用して植栽するつもりでしたが、様々な葛藤がありました。最終的には今年の台風で農地が冠水し、



下刈作業の様子

ゴミも溜まって、農業機械が入られなくなったことと、もし突然の事故や病気になった場合、耕作放棄地となるため、シカやイノシシの餌場になるよりも、体力のあるうちに植栽したいと考えられたようです。終活と言われていますが、「これからもしいたけ生産を続け、生涯しいたけに関わっていきたい」と熱く想いを語られています。



クヌギ植栽地

## 対馬の原木しいたけを未来に託す

自分自身の代で木を切って、収入にする、次世代に残さないという森林所有者もいらっしゃいますが、植栽や手入れを行って、未来のために残すという、長年、対馬しいたけの振興にご尽力されてきた緒方さんらしい素敵な選択だと感じました。

(対馬振興局 林業課)



緒方さん所有の人工ほだ場



林業団体情報

# 長崎県民の森 ご利用にあたって(お願い)

## ～新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて～

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、長崎県民の森をご利用の際は、下記対策へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、今後の状況によっては対応が変更になることも考えられますので、ご利用の際は事前に長崎県民の森ホームページをご確認ください。

### ご利用にあたっての注意点

#### ～全施設共通～

- ① マスクの着用・手洗いうがいのご協力をお願いします。
- ② 体調が悪い場合は利用をご遠慮ください。
- ③ ご利用の際は利用者同士で十分に距離を保った上でご利用ください。
- ④ 県民の森利用後数日以内に、新型コロナウイルスに感染もしくは濃厚接触者である可能性が出た場合は、県民の森へご連絡をお願いします。
- ⑤ 園内利用者に感染者が発生した場合の連絡体制を整えるため、屋内施設利用の際には、利用者名簿へご記入をお願いします。
- ⑥ 混雑時には入場制限をさせていただく場合がございます。
- ⑦ イベントや施設の予約をされた後でも、今後の感染拡大の状況によっては、急遽キャンセルとなる場合もございます。

#### ～オートキャンプ場・一般キャンプ場～

- ① ご予約は電話でのみ受け付けております。(予約受付：長崎県民の森キャンプ場管理事務所 電話番号：0959-24-1660)
- ② 消毒・清掃等を十分に行う時間を確保するため、混雑が見込まれる連休などには、空き数に関わらず宿泊・ご利用をお断りする場合がございます。
- ③ 利用当日は、確認書にご記入いただき、提出をお願いします。事前に記入してお持ちいただくと、お手続きがスムーズです。

確認書のダウンロード  
はこちらから→



#### ～森の交流館～

- ① 団体の利用は20人前後までを上限にお願いします。
- ② 風呂場利用の際は、密集を避けるため、少人数ずつ、順番でご利用ください。

#### ～遊具～

- ① ご利用前と後には、必ず付近に設置しております手洗い場にて手洗い・うがいをお願いします。
- ② 遊具は密にならないよう、十分に間隔を空けて順番にご利用ください。



#### ～天文台～

- ① 天文台内は非常に狭く、3密になりやすいため、基本は外で説明を行い、天文台内へは少人数ずつでのご案内となります。

#### 【お問い合わせ先】

長崎県民の森 管理事務所

TEL：0959-24-0181

FAX：0959-24-1666

県民の森HP→



センターだより

## 令和2年度の研究紹介 ～森林研究部門～

### はじめに

農林技術開発センターでは、森林・林業に関する幅広い分野で試験研究をおこなっています。今回は、今年度の取り組み課題についてまとめて紹介します。なお、これまでの成果については今後本誌で順次報告します。

### ●花粉症対策品種の開発の加速化事業 (H29～R3)

花粉症対策スギ品種の開発がこれまで20年間かかっていたものを5年間程度に短縮する技術を林木育種センターと共同で研究します。

※花粉症対策スギ：無花粉もしくは少花粉のスギのこと。

### ●成長に優れた苗木を活用した施業モデルの開発 (H30～R4)

成長に優れた苗木（ヒノキ）のコンテナ苗の育苗期間の短縮、最適な植栽密度と下刈り回数の低減について森林総合研究所と共同で研究します。

### ●ツバキ林育成技術の開発 (R1～)

ツバキ実の収量、採種効率向上、豊凶対策や未利用材（葉、果皮、木材）の活用について研究します。

### ●森林情報解析 (H27～)

人工林の林分材積表調整、広葉樹の材積調査、シカ被害による更新不良地を抽出し森林整備に寄与する基本情報を整備します。

### ●早生樹現地適応化試験 (H29～)

短伐期林業の樹種を選定するため、9樹種について継続観察し、中でも成長の旺盛な樹種の下刈り省略や野ウサギ対策の試験をおこないます。

### ●獣害を考慮した更新技術の実証 (H29～R2)

<sup>ぼうろく</sup>防鹿ネット資材の低コストや軽量化、柵張り方法等を継続調査します。また、不嗜好性植物を探索し、更新不良地対策に適用できるか検討します。

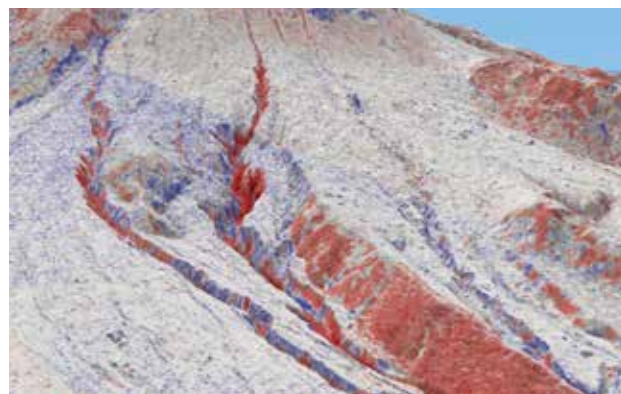
### ●ドローンを用いた造林事業の省力化の実証 (R2～)

造林間伐等の補助申請が今後リモートセンシング技術を利用できる見込みであるため、解析画像による事業区域の確定、作業道測量、検査の省力化を検証し、その手順書の作成および推奨機器の提案をおこないます。

※リモートセンシング：物を触らずに遠隔で計測する技術のこと。

### ●雲仙普賢岳ガリー浸食解析 (R1～)

航空レーザとドローン空撮で地形解析し土砂生産箇所や堆積状況を明確にします。



溶岩ドーム直下の極楽・炭酸水谷のガリー浸食状況

※ガリー浸食：降水や雪解け水の流れにより地表面が削られること。

今後も行政と普及一体となって地域に役立つ成果を目指して試験研究を進めてまいります。

(農林技術開発センター)

## 紹介コーナー 檜巻山荘 あかがしの家




やりまきさんそう

### 檜巻山荘あかがしの家

〒859-6415

住所：長崎県佐世保市世知原町檜巻 1437

電話：090-5292-0543（詳細は要問合せ）

 古民家プロジェクト CabeCholo で検索

やりまきさんそう

「檜巻山荘あかがしの家」は、佐世保市世知原町にある古民家を改築した「やりたいを実現する」自然体験型施設です。古民家プロジェクト「CabeCholo（カベチョロ）」のメンバーが今もコツコツと改築を進めています。主な活動は年2回開催される文化祭や室内外で行なわれる講座。施設内には囲炉裏やギャラリーもあり、現在は「木展に来てん！」と題した約120種もの標本木の展示が楽しめる他、Wi-Fi完備のコワーキングスペースとしての活用も出来ます。2階のロフトには手作りの2段ベッドや書棚があり、野鳥の声を聴きながら、静かな環境で一日中ゆったりと過ごせる工夫が散りばめられています。

CabeCholoの活動は多様で、例えば全国で深刻化する害獣被害を減らす対策として、捕えた害獣の皮を鞣したり、肉の加工などその活用法を探っています。また近くに生えるハゼの木の実から木蠟を精製し、和ろうそくの加工にも取り組んでいます。CabeCholoの「あかがしの家」は、地元資源の発掘とその循環を第一に考え、様々な活動の拠点として今日もどんどん進化中です。

## 伊万里木材市況

【ヒノキ】 市売りは中止

令和2年5月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	16～18	直	15,000	多い	少ない	少ない
	16～18	小曲り	13,000	多い	少ない	少ない
	20～22	直	15,000	多い	少ない	少ない
	20～22	小曲り	13,000	多い	少ない	少ない

【スギ】

令和2年5月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	18～22	直	12,000	少ない	普通	普通
	18～22	小曲り	12,000	少ない	普通	普通
	24～26	直	12,000	少ない	普通	普通
	24～26	小曲り	12,000	少ない	普通	普通

※情報・お問い合わせは、伊万里木材市場 電話 0955-20-2183 まで

## 長崎の山：国見山776m（佐世保市）



国見山湖畔公園からの眺望

県北地区最高峰として知られる国見山は、北松浦半島のほぼ中央部に位置する標高776.2mの山です。県北部の北松浦半島、大島をはじめとした島々や内陸部の丘陵地帯を有する「北松県立公園」として、昭和37年に県立自然公園のひとつに指定されました。

佐世保市の東端と佐賀県伊万里市・有田町の境に位置しており、山頂はやや佐世保市側。アカガシなどの美しい広葉樹が自生する登山道を登り頂上に立つと、平戸や五島列島、天候が良ければ遠く阿蘇山も望めます。登山口は、八天岳、栗ノ木峠、広い駐車場がある国見湖畔公園などがあります。標高500mにあるこの公園は、国見トンネルを超えたすぐの場所にあり、ため池の水辺空間を活用した湖畔公園で、休日には憩いを求める多くの利用客が訪れます。

県内最長である佐々川の源流部である国見山の山裾では、その豊かな水を利用し、沢山の農産物が作られています。世知原活性化施設「国見の郷」は、旬の味を求める県内外からのお客さんで日々賑わっています。館内には、季節ごとに野菜や果物、世知原茶、せちばる米など豊富な国見山の恵みが勢ぞろい。今回は、その中でも大人気の開作地区の原木シイタケを栽培している岩佐利行さんに話を聞きました。

建設業で仕事をする傍ら、約6年前から本格的にシイタケ作りを始めた岩佐さん。自宅の敷地内にある竹やスギが生える雑木林の中で、自身が育てたクヌギでシイタケを栽培し

ています。元々は傾斜のきつい荒れた土地でしたが、岩を取り除き平らにならして、今の環境を作り上げました。岩佐さんの作る原木シイタケは大変風味がよく肉厚で、色味が良いのが特徴です。最盛期には、1本の原木から一度に何十個も収穫するそうで、年間約500～600袋のシイタケを地域の直売所とJAに卸しています。国見山の木々が育む美味しい森の恵みである岩佐さんの作る「開作の原木シイタケ」は、訪れるお客さんの楽しみの一つとなっているそうです。



クヌギの原木(上)  
作業をする岩佐さん(左)と原木シイタケ(右)

一年を通し、登山や周辺にある様々な観光スポットで賑わいを見せる国見山。恵まれた自然環境と豊富な森林資源、そして豊かな水源により、今も昔も変わらず地域住民の生活を守り支えています。

(NPO法人地域循環研究所)

長崎の林業 6月号 第777号  
編集・発行 長崎県林政課  
住所：長崎県長崎市尾上町3番1号  
電話：095-895-2988  
ファクシミリ：095-895-2596  
メールアドレス：  
s07090@pref.nagasaki.lg.jp